資料２

『山口市文化財保存活用地域計画』

文化財の保存活用に関する取組（措置）

令和７年度　実施状況

山口市教育委員会
文化財保護課

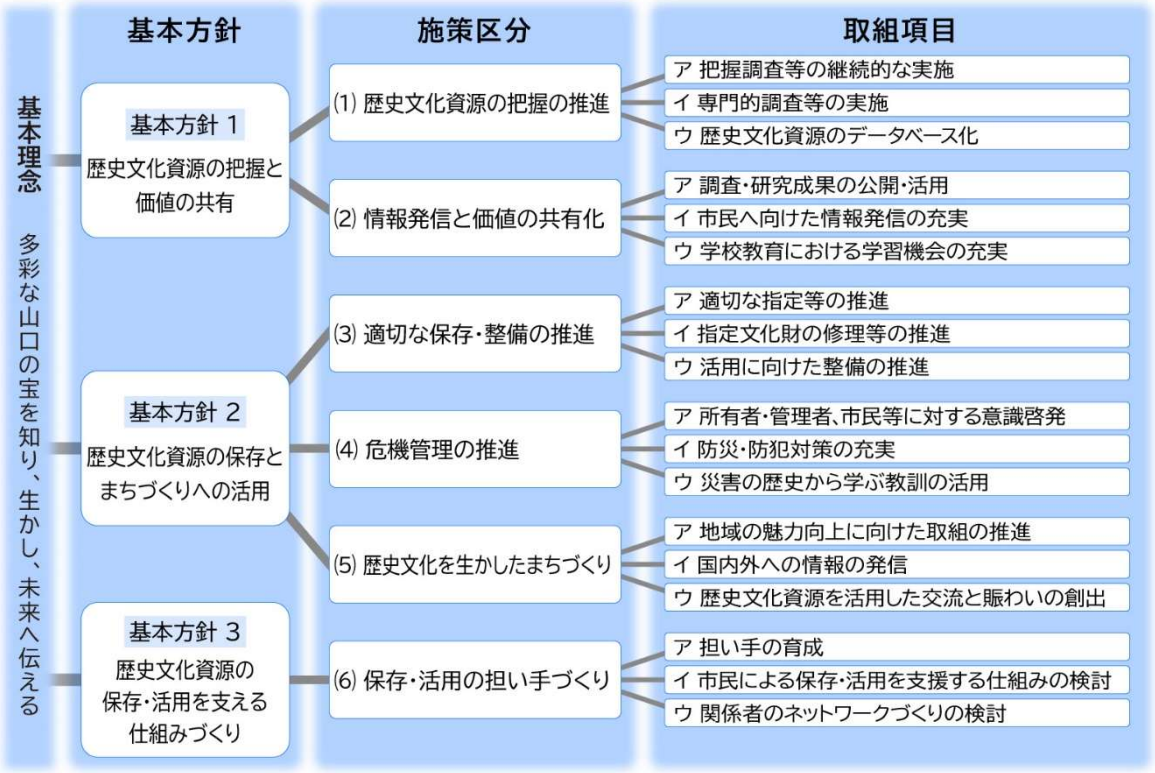


図　歴史文化資源の保存・活用に向けた措置の体系

※詳しくは『山口市文化財保存活用地域計画』及び概要版をご参照ください。

基本方針１　歴史文化資源の把握と価値の共有

施策（１）歴史文化資源の把握の推進

(1)-ア　把握調査などの継続的な実施（措置１）

【措置１】　文化財把握調査の実施

永福寺（山口市円政寺町）等の寺社所蔵の資料の調査を５件おこないました。（文化財保護課）

⑴-イ 専門的調査等の実施（措置２～４）


【措置２】彫刻調査

【措置２】 詳細調査の実施

泉福寺（阿東）所蔵の薬師如来坐像等、寺社所蔵の彫刻４件について、詳細な調査を行いました（文化財保護課）。

【措置３】 発掘調査の実施

開発事業にともなう発掘調査７件、史跡の保存活用のための発掘調査２件（周防鋳銭司跡・柏木遺跡）、試掘調査３３件をおこないました（文化財保護課）。

【措置４】 文献等調査の実施

大内氏に関する文献史料「船路八幡宮大般若経」などの紙質調査をおこないました（文化財保護課）。

地域に残る資料の調査及び利活用をおこないました（８件）。郷土出身の文学者・和田健氏の資料について、山口県立大学との共同研究をおこないました（文化交流課）。

⑴-ウ 歴史文化資源のデータベース化（措置５）

【措置５】 データベースの公開

山口市ＨＰサブサイト「山口市の歴史文化資源」について、歴史文化資源の追加や修正などの更新をおこないました（文化財保護課）。

施策（２）情報発信と価値の共有化

⑵-ア 調査・研究成果の公開・活用（措置６）

【措置６】 調査・研究成果の公開

『山口市文化財年報 19』を刊行しました。また、岡小路遺跡や史跡周防鋳銭司跡などの発掘調査の現地説明会をおこないました（文化財保護課）。

⑵-イ 市民へ向けた情報発信の充実（措置７～12）

【措置７】 講座・講演会の実施


【措置7】みえてきた周防鋳銭司講演会

大内氏歴史文化研究会歴史講座「大内氏の和歌連歌料紙」を開催しました。参加者 40 人（文化財保護課）。

陶・鋳銭司地域の歴史文化資源を対象にした講演会「みえてきた周防鋳銭司」を開催しました。参加者 300 人（文化財保護課）。

鋳銭司郷土館で歴史講座を２回開催しました。参加者計 59 人（文化財保護課）。

【措置８】 広報誌等の発行

情報誌『彩都山口』を発行しました（企画経営課）。

【措置９】　地域資料の収集・公開

歴史民俗に関する図書など地域資料を収集・公開しました（中央図書館ほか）。

【措置 10】　説明板・案内板の設置

指定等文化財の看板設置・修繕を計８件おこないました（文化財保護課）。

【措置 11】　散策コースの設定

陶・鋳銭司地域の歴史文化資源を対象とした「陶・鋳銭司ラリー」を開催しました。参加者 103 人（文化財保護課）。

【措置 12】モデル事業の実施

陶・鋳銭司地域の歴史文化資源を対象とした講演会やラリーイベントを開催しました。（措置 7・措置 11 に記載）



【措置 12】ラリーイベント

(2)-ウ 学校教育における学習機会の充実（措置 13）

【措置 13】　学校における郷土学習の実施

市内の文化財展示施設において、小・中学校による郷土学習・体験学習を受け入れました（文化財保護課・文化交流課・観光交流課・ふるさと産業振興課など）。

山口市歴史民俗資料館	３件
小郡文化資料館	11 件
鋳銭司郷土館	４件

各学校において、郷土学習がおこなわれています（学校教育課）。

基本方針２　歴史文化資源の保存とまちづくりへの活用

施策（３）適切な保存整備の推進

(3)-ア　適切な指定等の推進（措置 14）

【措置 14】文化財の指定・登録

常栄寺（宮野地域）の所蔵する書跡が市有形文化財に、史跡周防鋳銭司跡出土の銭貨資料が県有形文化財に指定されました。また檜皮葺が県の保存技術に選定され、技術保持者が認定されました（文化財保護課）。



(3)-イ　指定文化財の修理等の推進（措置 15～18）

【措置 15】　指定文化財の維持管理

天然記念物や史跡などの地域で所有する文化財維持管理に対する支援や、文化財のうち市有地の文化財（史跡・建造物など）についての維持管理をおこないました（文化財保護課）。

【措置 16】　指定文化財の保存修理

瑠璃光寺五重塔の保存修理や、常栄寺庭園の保存修理など、文化財所有者がおこなう有形文化財の保存修理や防災施設保守点検・維持管理等などに対して補助をおこないました。また、名田島新開作南蛮樋の石積が大雨により崩落したため、災害復旧工事をおこないました（文化財保護課）。



【措置 16】瑠璃光寺五重塔修理

【措置 17】　文化財保護指導員による巡視の実施

山口県文化財保護指導員４名・山口市文化財保護指導員 10 名による巡視を毎月おこないました（文化財保護課）。

【措置 18】　無形民俗文化財等の保存団体への支援

指定を受けている無形民俗文化財等の保存伝承活動に対して９件（257 千円）の補助をおこないました（文化財保護課）。

(3)-ウ　活用に向けた整備の推進（措置 19）

【措置 19】　史跡等の活用に向けた整備

常栄寺庭園の園路整備や東屋の修理をおこないました。（文化財保護課）。

施策（４）危機管理の推進

(4)-ア　所有者・管理者・市民等に対する意識啓発（措置 20・21）

【措置 20】　危機管理に関する情報の提供

文化庁作成の文化財防火デーのポスターを所有者宛てに送付しました（文化財保護課）。

【措置 21】　消防訓練の実施

文化財防火デーに伴い、市内の文化財建造物の立入調査をおこないました（山口市消防本部）。消防訓練は実施している社寺もありますが、消防本部と合同での訓練は実施されていません。

(4)-イ　防災・防犯体制の充実（措置 22）

【措置 22】　防災施設の整備

正八幡宮の防災施設修理に対して補助をおこないました（文化財保護課）。

(4)-ウ　災害の歴史から学ぶ教訓の活用（措置 23）

【措置 23】　災害に対する情報の提供

災害に関する歴史文化資源の情報を「山口市の歴史文化資源」サイトで公開しました（文化財保護課）。

施策（５）歴史文化を生かしたまちづくり

(5)-ア　地域の魅力向上に向けた取組の推進（措置 24～27）

【措置 24】　関連文化財群の磨き上げ

歴史文化資源の効果的な活用や情報発信について、山口市文化財保存活用推進会議で検討をおこないました（文化財保護課）。

【措置 25】　歴史文化等に関する検定の実施

「やまぐち歴史・文化・自然検定」を実施し初級から上級に 49 名が参加されました（山口商工会議所）。

【措置 26】　歴史的なまちなみの保全

大内文化特定地域のまちなみ景観を保全・形成・活用する地域主体のまちづくりの取組を支援したほか、町屋の再生・活用に係る調整を進めました（文化交流課）。

大内文化特定地域に新規出店する事業者に対して支援を行いました（ふるさと産業振興課）

大内文化特定地域内のまちなみ保全を目的とした公共空間の整備として、道路美装化工事に先立ち無電柱化の工事をおこないました（都市整備課）。

【措置 27】　歴史文化による市のブランディング

観光関連団体と連携したキャンペーン・商談会等への参加や、SNS 等での情報発信による誘客効果を高める観光プロモーションに取り組みました（観光交流課・NPO 法人・民間事業者）。

(5)-イ　国内外への情報の発信（措置 28～34）

【措置 28】　史跡等ガイダンス機能の整備

大路ロビーにおいて資料展示１回をおこないました（文化財保護課）。

【措置 29】　関連文化財群についての情報発信

山口市ウェブサイトや山口市文化財保護課公式Ｘ（旧ツイッター）などを活用し、関連文化財群についての情報発信をおこないました（文化財保護課）。

【措置 30】　ウェブサイトによる情報発信

各課が所管する業務に関する情報発信をおこないました（文化財保護課・文化交流課・観光交流課・山口観光コンベンション協会ほか）。

【措置 31】　SNS による情報発信

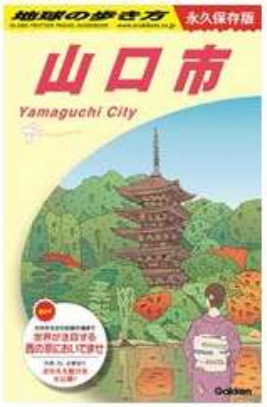
文化財保護課が実施するイベントや事業のほか、歴史文化を身近に感じる情報について発信しました（文化財保護課）。

【措置 32】　海外への誘客の促進

欧米や台湾をはじめとする東アジア及び東南アジアを対象とした誘客プロモーション及び受入環境整備を実施しました（観光交流課）。

【措置 33】　市外県外及び首都圏への情報発信

観光、文化、スポーツ等庁内関係部局や民間団体等と連携し、「大内文化」をはじめ「SL やまぐち号」「YCAM」「湯田温泉」など山口市の特色や強みとなるテーマを活用してシビックプライドの醸成を図るとともに、認知度向上や都市のイメージアップを目指すため、ターゲットを意識した重点的なシティセールスに取り組みました。また「地球の歩き方山口市」の発刊を契機に、「西の京やまぐち」の発信と更なる認知度向上を図るためのプロモーションをおこなうことができました（企画経営課）。



【措置 33】情報発信

【措置 34】　自治体連携による情報発信

ガーデンツーリズム「雪舟回廊」（４県６市）に基づく取組を進めました（文化交流課）。

⑸-ウ　歴史文化資源を活用した、交流と賑わいの創出（措置 35～41）

【措置 35】　歴史文化資源を活用したイベントの実施

周防鋳銭司設置１２００年記念として、陶・鋳銭司地域の歴史文化資源を対象とした講演会やラリーイベント、史跡現地でのフェスイベントを開催しました（文化財保護課）。



【措置 35】周防鋳銭司 1200 フェス

【措置 36】歴史文化の回遊・滞留機能の強化

ふるさと伝承総合センター「まなび館」を活用し、伝統工芸品等の情報発信をおこなうほか、職人の技や作品を間近で見ることができる実演・展示コーナーの運営等をおこないました。また近隣施設と連携したスタンプラリーを実施しました（ふるさと産業振興課）。

【措置 37】　歴史的建造物の公開活用

菜香亭や十朋亭などの歴史的建造物の公開・活用をおこないました（文化交流課）。

【措置 38】　展示施設における歴史文化資料の展示公開

市内の展示施設で展示公開をおこないました（文化財保護課・文化交流課）。

歴史民俗資料館　年間入館者 5,211 人

企画展「新収蔵資料展　令和４年度～令和６年度」令和７年４月１日～同７月６日

企画展「古代の山口」令和７年７月 19 日～同 11 月 24 日

企画展「あかりのうつりかわり」令和７年 12 月９日～令和８年５月 24 日

小郡文化資料館　年間入館者 8,284 人

企画展「黒鐵から白鐵へ　小郡鉄道物語」令和７年７月 19 日～同９月 15 日

企画展「小郡　戦争の記憶」令和７年８月 15 日～同 11 月３日

鋳銭司郷土館　年間入館者 3,796 人

徳地文化伝承館　年間入館者 6,210 人

阿知須「いぐらの館」　年間入館者 6,496 人

十朋亭維新館　年間入館者 21,665 人（展示室入館者 3,185 人）
企画展「山口の道と名所」令和７年４月３日～同７月７日
企画展「山口の井上馨」令和７年７月９日～同９月 29 日
企画展「益次郎をめぐる人々」令和７年 10 月１日～同 12 月 22 日
企画展「萬代家コレクションで楽しむ春夏秋冬」令和７年 12 月 24 日～令和８年３月 30 日
山口市菜香亭　年間入館者　17,147 人
企画展「幕末維新めぐり　関西の中の長州」令和７年３月５日～同６月８日
企画展「サビエルからの贈り物」令和７年 11 月 19 日～同 12 月 25 日、
令和８年３月４日～６月 29 日

【措置 39】　歴史文化を生かした交流事業の実施

海外都市との交流活性化事業として、公州市からの訪問団及び各国駐日大使の視察を受け入れました（国際交流課）。

秋穂八十八箇所霊場の巡礼文化をテーマとしたイベント「シェ・アイオ」を実施しました（観光コンベンション協会）。

【措置 40】　伝統芸能や伝統工芸を体験する機会の創出

山口ふるさと伝承総合センターにおいて、大内塗の体験や講座等を開催し、伝統工芸等に触れる機会を提供しました（ふるさと産業振興課）。

山口鷺流狂言保存会定期公演を開催しました。令和７年 11 月 29 日（山口鷺流狂言保存会）。



【措置 40】山口鷺流狂言　定期公演

【措置 41】　伝統工芸の継承等への支援

山口ふるさと伝承総合センターで、伝統産業の継承を支援しました（ふるさと産業振興課）。

基本方針３　歴史文化資源の保存と活用を支える仕組みづくり

施策区分（６）保存活用の担い手づくり

(6)-ア 担い手の育成（措置 42～44）

【措置 42】　観光ガイド等の育成

ガイド活動や研修、新規ガイド育成活動の支援をおこないました（観光交流課）。

研修や育成講座をおこないました（山口市観光ボランティアガイドの会・山口観光コンベンション協会徳地支部）。

【措置 43】　講習会の開催

歴史的建造物の保全活用に係る専門家であるヘリテージマネージャーの育成講座を開催しました（山口県ヘリテージマネージャー協議会）。

【措置 44】地域づくりを担う人材の育成

地域づくりに携わる人を対象に、研修や意見交換会をおこないました。地域での会議等に地域アドバイザーを派遣し、アドバイスをおこないました（協働推進課）。

⑹-イ 市民による保存・活用を支援する仕組みの検討（措置 45～47）

【措置 45】 支援制度の創設

ふるさと納税を活用した支援制度を創設しました。令和７年度は瑠璃光寺五重塔、常栄寺庭園の保存修理に対し、２３件１，５９０千円の寄付がありました（文化財保護課）。

【措置 46】 地域が行う歴史文化を生かした活動への支援

地域づくり計画に基づき行われる地域振興などの活動や関係人口の拡大につながる取組などに交付金を交付しました（協働推進課）。

【措置 47】 歴史講座等への講師の派遣

小・中学校への出前授業・社会人向けの歴史講座・専門家向けの研修・歴史文化イベントなどに対し、文化財保護課職員を講師として派遣しました（文化財保護課）。



【措置 47】小学生への体験授業

⑹-ウ 関係者のネットワークづくりの検討（措置 48～50）

【措置 48】 歴史文化を生かしたまちづくりを推進するワークショップ・シンポジウム等の開催

古民家を活用したまちづくりについて関係者等での話し合いをおこないました（文化交流課）。

【措置 49】 関係者が情報共有を行う場の設置

令和７年度は実施していません。

【措置 50】 （仮称）山口市文化財保存活用計画協議会の設置・運営

「山口市文化財保存活用推進会議」及び「山口市文化財保存活用評価会議」を開催しました（文化財保護課）。

重点事業に対する取組み　50 の措置から再構成

（1）大内氏関連の歴史文化資源の活用推進

・大内氏に関する文献史料の紙質調査をおこないました
・大内氏歴史文化研究会歴史講座「大内氏の和歌連歌料紙」を開催しました【措置７】。
・『大内氏がわかる本』などの PR 等を通じて、大内氏・大内文化の周知促進を図りました【措置８・29・30・31】。
・国宝瑠璃光寺五重塔の保存修理に対し補助をおこないました【措置 16・22】
・大内文化特定地域のまちなみ景観を保全・形成・活用する地域主体のまちづくりの支援、町屋の保存・再生に係る取組の検討をおこないました。地域内に新規出店する事業者に対し支援をおこないました。地域内の道路美装化・無電柱化の設計をおこないました【措置 26】。
・歴史民俗資料館や大路ロビーで、大内文化に関する展示をおこないました【措置 28・38】。

（2）中山間・南部地域の歴史文化資源の磨き上げ、発信

・山口大学と共同して史跡周防鋳銭司跡の第１０次発掘調査を実施しました【措置３】。
・周防鋳銭司設置１２００年を記念して、陶・鋳銭司地域を対象にした講演会やラリーイベント、フェスイベントを開催しました【措置７・11・12・35】
・広報紙等やウェブサイト、SNS などによる情報発信をおこないました【措置 8・29・30・31】。
・史跡周防灘干拓遺跡名田島新開作南蛮樋の災害復旧工事をおこないました【措置 19】。
・山口市歴史民俗資料館、小郡文化資料館で、南部地域に関連する展示をおこないました【措置 38】。
・秋穂八十八箇所霊場の巡礼文化をテーマとしたイベント「シェ・アイオ」を実施しました【措置 39】。

成果指標の達成状況（地域計画 88 頁参照）

指 標 名 （指標の典拠）	上段:基準値（令和2年度） 下段:目標値（令和９年度）	実績値 （令和7年度）	指標の推移 前年度比
①文化・芸術・歴史に触れる機会（訪れる・鑑賞する・活動する・体験する）に恵まれていると思う市民の割合 （山口市まちづくりアンケート）	65.4% 70.0%	**59.7%**	**上昇** （1.7 ポイント）
②山口市の歴史文化に誇りや愛着を持っている市民の割合 （山口市まちづくりアンケート）	62.2% 70.0%	**59.9%**	**上昇** （1.8 ポイント）
③観光客数 （山口県観光客動態調査）	3,040,552人 6,000,000 人	**5, 675, 157 人**	**向上** （321, 804 人）

※山口市まちづくりアンケート・山口県観光客動態調査の説明を追記